

# 改悪狙う政府 介護保険 不安切せつ

電話相談に高齢者・家族

政府が介護保険の給付削減や

暮ら17人が対応しました。

負担増をもりこんだ改悪をねらうなか、「介護・認知症なんでも無料電話相談」が11日、実施されました。33都道府県35カ所

の会場で専門家が電話を受け、

本人や家族からの「不安」や「介護疲れ」について答えました。中央社会保障推進協議会と「認知症の人と家族の会」の共催。

東京都豊島区の会場では、ケ

アマネジャーや同会の電話相談保険料が7万8千円も引かれてる。こんな厳しい経済状況なのに、医療や介護については負担が増えるばかり。いまは介護保険を利用していないが、将来受けられるのか。国は高齢者を守る立場なのか。ぜひ、「伝えほしい」と訴えました。

話を聞いた同会東京都支部代表の大野敦子さんは、介護保険改悪に反対する運動を紹介し

「あなたのような国民の声を厚労省に届ける活動をしているので、その思いを必ず伝えていきます」と力強く答えました。

その他、「介護保険利用料2割負担。いまは何とか本人の年金の範囲内でやりくりしている。将来さらに負担が重くなつた場合、介護する家族(60代)の老後の蓄えを減らさなければならず困る」「介護費用が月10万円で高い。介護する私(60代女性)の老後はどうなるか」などの不安が訴えられました。



相談を受ける介護の専門家  
ら=11日 東京都豊島区